

7月23日(日)発行

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

# ほぼ 日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza



## 新次元のチャイコフスキー！ これぞライブの喜び！

7/22 東京交響楽団 オープニングコンサート

©N.Ikegami

コロナ禍以前の賑わいが戻った夏祭り。開幕を寿ぐのはこの人、いやこのコンビ、我らがジョナサン・ノットと東京交響楽団しか考えられない。当然大入り、完売だ。

緻密なりハーサルを愛で、演奏中にも新たな感興が湧き起こっているかのような音楽づくりを身上とする東響の音楽監督ノットが選んだのは、ライブでは滅多にお目にかからないチャイコフスキーの交響曲第3番通称「ポーランド」と烈しくも味わい深い交響曲第4番。実はノット監督にとってもレアで挑戦的なレパートリーだ。

ミュージアを満たしたのは、表

層的なうねりや「はったり」に頼らない(陥らない)新次元のチャイコフスキーだった。音色の変幻をどこまで自然に紡ぐことができるか。相愛のノットと東響は、芸術的な課題を隠すことなく、しなやかに、歌うことを忘れずに高みを目指す。ゆえに応援したくなる。

オペラやバレエに通じる語法のほか、スラヴ文化圏の舞曲、民謡に基づくフレーズがてんこ盛りの第3番から東響は懸命だった。いつもながら木管セクション、ティンパニが積極性をみせ、コントラバス(客演首席に京響の黒川冬貴、京響「巨人」「サロメ」のソロも素晴らしかつ

た)も要所を音楽的に締める。ホルン(客演首席に静響の柳谷信、素晴らしい)もハーモニーの探求家ノットと交歓した。いいぞ。フレーズの句読点や語尾に「こだわる」マエストロとその美学に伝えようとするオーケストラ。これぞライブの喜びだ。第4番の第2楽章で両者の美学は頂点に。

ノットのソロカーテンコールに、今月で東響を卒業する首席トランペットの佐藤友紀も加わり、客席は一段と沸く。たくさん拍手したので手が痛い。ノットと東響、大好きである。

(音楽評論家 奥田佳道)



ジョナサン・ノット(左)  
今月で東響を退団する佐藤友紀氏(Tp)(右)

### ご来場者の声

ノット × チャイコ最高!! オープニングに相応しい大迫力。そして3番の繊細さと4番の力強さのバランスも素晴らしい。感動しました!! (60代・自営業・ハマのレオン) / 開幕初日から満員で、今年のフェスタサマーミュージアには、これまで以上の盛り上がりを感じます。オープニングに相応しい熱演で、なじみのないチャイコフスキーの3番が、これほどまでにおもしろい曲であったことに驚いています。4番も、これまでの演奏とは一線を画すものがありました。なるほどと思わせる解釈で、とても興味深く聴くことができました。これからの、すべての公演が楽しみでなりません。(50代・地方公務員・本当に地方公務員) / 演奏はとても良かった。会場の熱気も。酷暑に負けなない熱い演奏! ファンファーレもドリンクコーナーもひさしぶり! お帰りなさい! (60代・自営業・マー君) / ノットさんの人気はさすが! 最後に顔を見せてくださるまで帰れません。佐藤さん、東響のお顔としてありがとうございました。チャイコの交響曲2曲、贅沢な時間でした! (70代・非常勤・マッチ)

【明日の朝刊休みます】明日(7/24)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は7/25です。

**Next!**  
**サマーミュージア**  
明後日のチケット情報

**洗足学園音楽大学**  
バレエとオーケストラで魅せる物語  
**7/25(火) 18:30 開演**  
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール (17:30開場)

**当日券あり**  
Tel・Web予約  
▶ 当日 16:30 まで  
当日券カウンター  
▶ 17:30 より



東京交響楽団メンバーによる  
オープニング・ファンファーレ  
アーカイブ動画配信中!



※ノットカメラあり

指揮：秋山和慶(洗足学園音楽大学 芸術監督・特別教授)

バレエ：

洗足学園音楽大学バレエコース

谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、牧阿佐美バレエ団

管弦楽：洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

- ワーグナー：オペラ『タンホイザー』
- ショパン：『ロマンティック組曲』～ピアノ曲による～ (ピアノ：福島未紀)
- ベルリオーズ：劇的交響曲『ロメオとジュリエット』から
- グノー：オペラ『ファウスト』から

【料金】SY1,800 AY1,000



## 秋のミュージックはJAZZもアツい! “ドラムスの神様”降臨&ブラジリアンナイト!

## かわさきジャズ 2023

川崎市全域をステージに変える都市型ジャズフェスティバル「かわさきジャズ2023」。ミュージックでは10月と11月に2公演開催決定!

10月は、“ドラムスの神様”スティヴ・ガッドが、デンマーク版グラミー賞と称される賞を2回受賞したサクソフォンのミカエル・ブリチャー、ソウル・ジャズ系 Hammond オルガン奏者として高い評価を得ているダン・ヘマーと共に降臨。(Hammondの音が大好きなスティヴ・ガッドですが、とりわけ、ダンの音が大のお気に入りとのこと!)ミュージックならではのアコースティックな空間で繰り出すスーパープレイをお見逃しなく!

11月は、前半にブラジルを代表するジャズピアニスト/ヴォーカリストであるイリアヌ・イリアスが登場。洗練されたピアノと温かい歌声と共に、包み込まれるような心地よい時をお過ごしください。後半は、ト

ランベット奏者エリック・ミヤシロが音楽監督を務める「BLUE NOTE TOKYO ALL-STAR JAZZ ORCHESTRA」が登場。本田雅人、中川英二郎や、今年からミュージックのホールアドバイザーに就任した宮本貴奈ほか、日本のジャズ界のトッププレイヤーたちが集結。ジャンルを超えたボーダーレスなジャズの世界をたぶりとご堪能ください。

### ◆ MUZA スペシャルナイトコンサート スティヴ・ガッド BHG プロジェクト

10月26日(木)  
19:00 開演

好評  
発売中

スティヴ・ガッド (drs)  
ミカエル・ブリチャー (sax)  
ダン・ヘマー (H.org)

[料金] 全席指定 ¥4,000



### ◆ A Night of Brazilian Music & Jazz

11月19日(日) 18:00 開演

好評発売中

#### [1部] ELIANE ELIAS

イリアヌ・イリアス (p,v.o) リアンドロ・ペレグリーノ (g)  
マーク・ジョンソン (b) ラファエル・バラータ (drs)



#### [2部] BLUE NOTE TOKYO ALL-STAR JAZZ ORCHESTRA directed by ERIC MIYASHIRO

エリック・ミヤシロ (tp,cond)、本田雅人、小池修、渡邊瑠菜 (以上, sax)

小澤篤士、山崎千裕、具志堅創 (以上, tp)  
中川英二郎、高井天音、小椋瑞季 (以上, tb)  
宮本貴奈 (p) 川村竜 (b) 岩瀬立飛 (drs) 他



[料金] 全席指定 S¥6,500 A¥5,000 U25¥ 各席種半額



パートナーショップのご紹介  
エンジョイ!  
川崎!!  
Enjoy Kawasaki



Cset 鶏肉としゃぶしゃぶ牛肉のフォーのセット  
1,100円(税込)

## お手軽、ベトナム プチトリップ♪

今年の3月にオープンしたベトナム料理を楽しめるお店です。ミュージックからみると駅の反対側、アゼリア地下街を京急線方面へ歩くと見えてきます。

フォーはだしが効いていて落ち着くお味で、小鉢にレモンとパクチーのトッピング付き!揚げ春巻は食べ応えがあり、生春巻きも一緒に食べ比べができ

てお得な気分でした♪店員さんにおすすめされ、卓上にある「にんにく・唐辛子・お酢」(調味料)を恐る恐る入れてみると、味変できてさらに美味しかったです。きれいな店内で、お手軽にベトナム気分を味わうことができるので、この機会に是非ご利用ください♡

(事業・じゃい)



照明がカラフルで綺麗な店内

### ジャズミンパレス

パートナーショップ特典 H 川崎アゼリア  
ソフトドリンクサービス  
※お食事ご利用のお客様に限り ※優待券持参者のみ

フェスタサマーミュージック公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージック  
#お待ちどうサマー♪  
で検索 & 投稿  
お待ちしております!



Twitter: @summer\_muza  
Facebook: @kawasaki.sym.hall  
Instagram: @muzakawasaki

クラシックといえ、子供の頃に見たドラマ「女に何が起ったか」、ピアノで「革命」弾いてのを見て、力強くかっこいいなあと、ドラマ「01 回目」では女性が大きな楽器弾いて、しかも弦楽器の音も素敵だな、ドラマ「めめカンタービレ」では指揮者って凄いなだと楽しく見ていた単純思考の私ですが、実際客席で聞いた時、生音の反響ってこんなに心地いいんだ、と感動しました。パイプオルガンなんて圧巻です。スピーカーの爆音に慣れていたの新鮮に感じます。

クラシック未経験の方、野外フェスなども楽しいですが、今年の夏は涼しいホールでしっかりと過ごしてみるのはいかがでしょうか。(貸館H)

## 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza  
毎年恒例のフェスタサマーミュージックが始まりました。という私は初参加です。クラシックも1年目の初心者です。音楽が好きで色々仕事で関わってきましたが、クラシックにはあまり縁がありませんでしたし、なんか敷居が高いな...と思っていました。クラシックといえ、子供の頃に見たドラマ「女に何が起ったか」、ピアノで「革命」弾いてのを見て、力強くかっこいいなあと、ドラマ「01 回目」では女性が大きな楽器弾いて、しかも弦楽器の音も素敵だな、ドラマ「めめカンタービレ」では指揮者って凄いなだと楽しく見ていた単純思考の私ですが、実際客席で聞いた時、生音の反響ってこんなに心地いいんだ、と感動しました。パイプオルガンなんて圧巻です。スピーカーの爆音に慣れていたの新鮮に感じます。

スタッフ日誌